

1 第1期実施計画における記載内容（第1期実施計画23頁より）

- 普通科においては、十和田西高校及び六戸高校における特色ある教育活動を引き継ぎ、地域資源を活用した観光やボランティア等に関する学習に取り組みます。
- 農業科においては、引き続き、農業に関する幅広い学習に取り組むとともに、これからの農業経営に必要な力を身に付けるため、営農大学校の教員や学生との交流等を推進します。

2 上北地区統合校に引き継ぐべき特色ある教育活動

論 点

3校から提示された案をもとに、上北地区統合校に引き継ぎたい3校の特色ある教育活動としてどのようなことが考えられるかという視点で協議する。

【引き継ぐべき特色ある教育活動の方向性】

【3校からの提案内容】

<p>十和田西 高校</p>	<p>○十和田奥入瀬文化観光認定ガイド養成講座受講 1学年の1～2学期に月1回(全8回)、課題研究の時間を活用して、NPO法人十和田奥入瀬郷づくり大学等の職員を講師として、十和田の景観美や文化等を観光客に紹介するガイドを養成するための講座を実施し、生徒が受講している。 また、8月に蔦沼や奥入瀬溪流において現地実習、1月に認定試験、2月に修了式を行っている。</p> <p>○自然環境学習及び探究活動による地域活性化 2学年の8～10月に2日間(1回90分)、国土交通省や十和田市DMO((一社)十和田奥入瀬観光機構)と連携しながら、奥入瀬エコロードツアーでのボランティアガイドを担っている。 また、2・3学年の4月に1回、JR東日本や十和田市DMOと連携しながら、「駅からハイキング」という街中ボランティアガイドを担っている。</p> <p>○救命救急講習(上級) 諸活動中の緊急事態にも備えるため、2学年の5月に1回、3学年の4～5月に2回、十和田湖消防署員を講師として救命救急講習を実施している。</p> <p>※ 上記3つの取組は観光科によるものであり、統合校の普通科に観光コース等を設置することにより引き継げるものとする。</p> <p>○十和田市秋祭り参加 毎年9月に開催される十和田市秋祭りにおいて、全校生徒が流し踊り(三本木小唄)に参加している。なお、三本木農業高校も農産物のPRのため参加している。</p>
<p>六戸高校</p>	<p>○教育課程上にボランティア活動の評価を位置付け 教育課程に学校設定科目「メイプルボランティア」があり、取得要件を満たせば学年ごとに1単位取得できることから、ボランティア活動に熱心な生徒が多い。</p> <p>○「総合的な探究の時間」における地域との協働 総合的な探究の時間において、「六戸高校さつき沼ビオトープ化プロジェクト」として、六戸町や北里大学と協働し、六戸町内の舘野公園とさつき沼のビオトープ化及び観光地化に取り組んでいる。</p>

三本木農業 高校	<p>○地域連携事業(きみがらスリッパ等) 十和田きみがらスリッパ生産組合と連携し栽培・研究活動に取り組んでいる(植物科学科)。地域の伝統工芸品を守るとともに地域活性化への貢献に努めている。</p> <p>○農場見学及び農業体験学習の受け入れ 毎年、見学及び体験学習のため1,500名程の来校者がいる。体験的学習の機会提供とともに、生徒が農場ナビゲーターとして案内や栽培指導を行うなど教育効果が上がっている(農業クラブ)。</p> <p>○アンテナショップの開催 原則、木曜日に本校の生産物を地域の方に販売している。農業経済科の販売実習も兼ねて行われており、楽しみに来校される地域の方は多い。</p>
-------------	---

3 上北地区統合校の新たな特色ある教育活動

論 点

上北地区統合校の特色ある教育活動について、現在、3校で取り組まれていない新たな教育活動としてどのようなことが考えられるかという視点で協議する。

【新たな特色ある教育活動の方向性】